

2023日本学生トライアスロン選手権観音寺大会



競技説明会



JTU競技規則・ローカルルール

1. 本大会は、**JTU競技規則**、学連ローカルルール（学連HP記載）及び競技説明会資料（本資料）記載内容に基づいて運営される。
2. 学連ローカルルール及び本資料記載内容は、JTU競技規則に優先する。但し、学連ローカルルール及び本資料に記載のない内容については、JTU競技規則を準用する。
3. 各選手がJTU競技規則、ローカルルールをよく確認すること。

Competition Rules2023



学連HP→



大会スケジュール



9/1 (金) 全選手

| 時間 | 内容 | 会場 |
|-------------|------------|--------------------|
| 10:00~17:00 | スイム試泳 | すぽっシュTOYOHAMA |
| 11:30~15:30 | ドラフティング講習会 | 観音寺市総合運動公園 自由広場 |

※ドラフティングレース未経験者及び講習会未履修者は参加必須です

9/2 (土) 全選手

| 時間 | 内容 | 会場 |
|----------------|-------|---------------|
| 9:00~10:00 | スイム試泳 | すぽっシュTOYOHAMA |
| 12:00~15:30 | 選手受付 | 大野原会館 |
| 15:30開場/16:00~ | 開会式 | 大野原会館 |



9/3(日)大会スケジュール



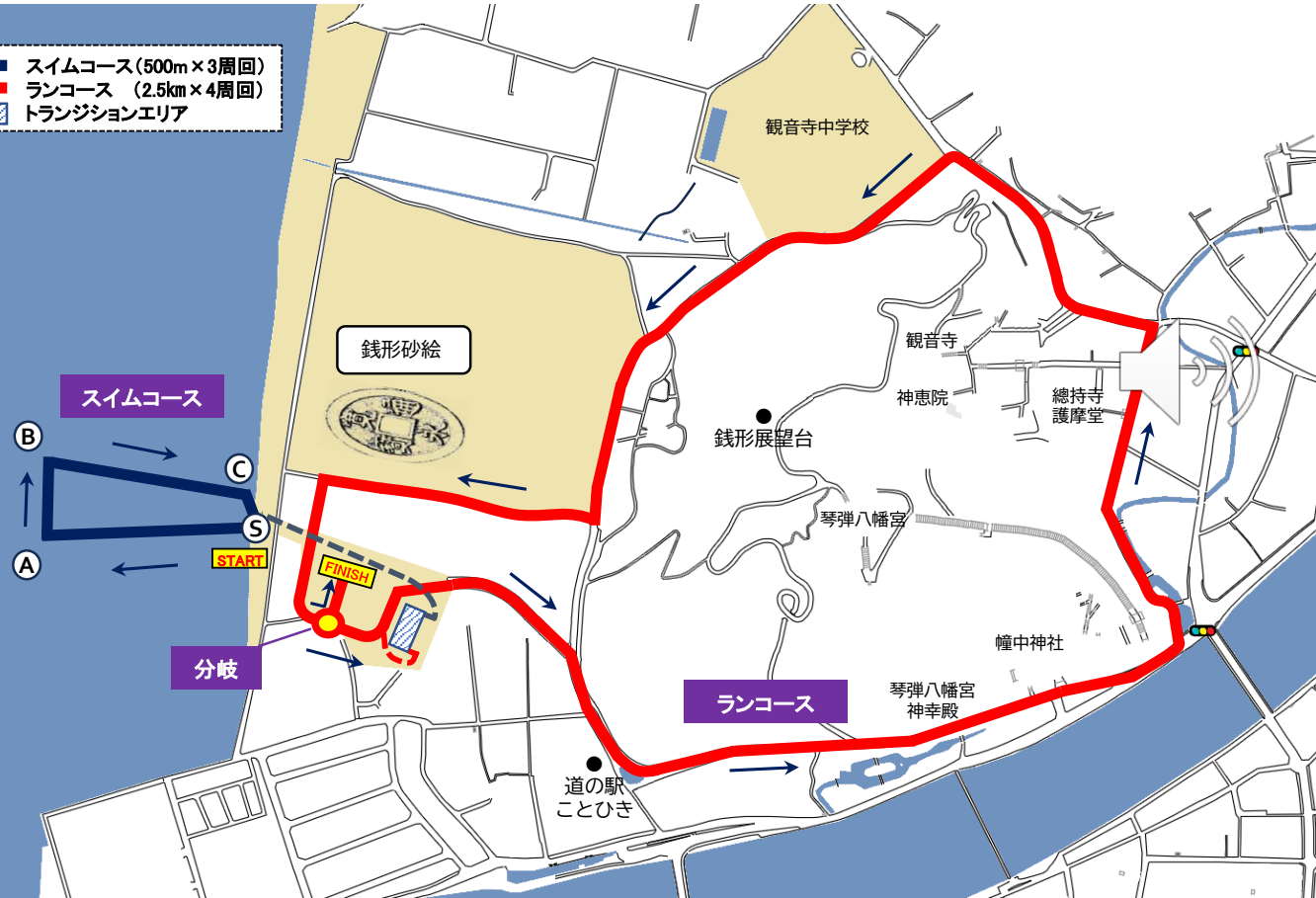
| 時間 | 内容 | 会場 |
|-------------|----------------------------|------------|
| 8:30~11:30 | 選手最終登録 | 大会本部 |
| 8:00~9:00 | トランジションエリアオープン (バイク搬入可) | トランジションエリア |
| 8:30~9:30 | ストックホイール受付 | バイクコース上 |
| 9:30~9:50 | 女子入水チェック | スイムエリア |
| 10:00 | 女子スタート | スイムエリア |
| 12:15~12:30 | トランジションエリアオープン | トランジションエリア |
| 12:30~12:50 | 男子入水チェック | スイムエリア |
| 13:00 | 男子スタート | スイムエリア |
| 15:00 | トランジションエリアオープン | トランジションエリア |
| 15:40~ | 閉会式・表彰式 | 大会本部 |



コース全体図



- スイムコース (500m × 3周回)
- ランコース (2.5km × 4周回)
- トランジションエリア



スイムコース

制限時間

※**40分**

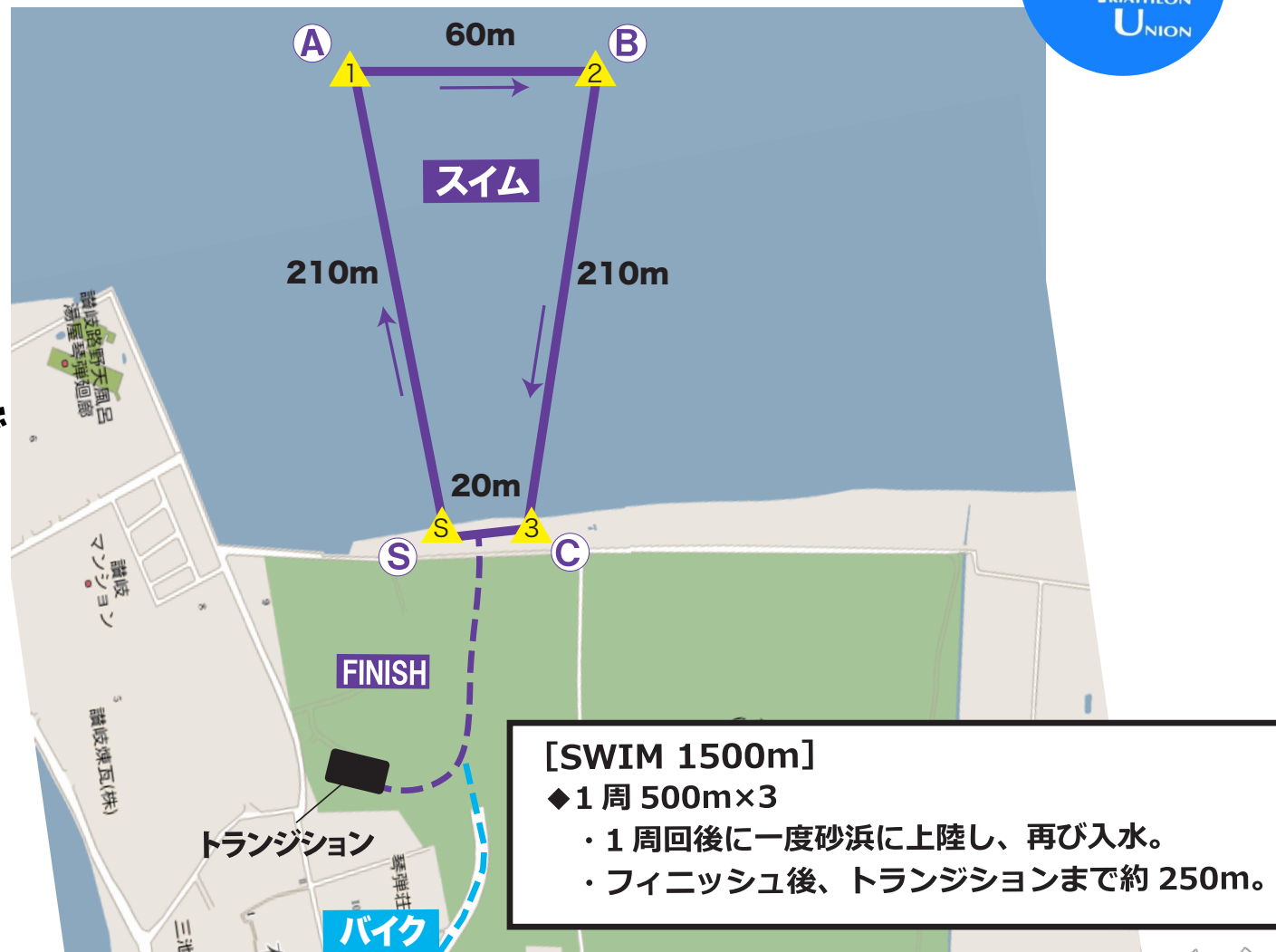
(安全上の観点や交通規制から)

※競技中であつたとしても

安全上の観点から**40分**を過ぎた時点で
競技を中断する。

スイムスキップ

※今大会では認めない



レースウェアについて

- レースウェアは競技者の名前のイニシャル、学校、大学チーム名、及び市販されている状態でのメーカー・ブランドショップ名のロゴ表示のみを推奨。
- **ファスナーが背面についているものを使用しなければならない。**
- **レース中、レース後に上半身裸になってはいけない。**



ウェットスーツの着用・スイムキャップについて

- ウェットスーツの着用はJTU規則に準ずる。
- 悪天候や水温上昇によって、着用義務になる場合もある。
22℃以上で禁止となる
(着用についてはスタート1時間前に告知する)
- **ウェットスーツ着用時は熱中症対策**を十分に行う。
- ウェットスーツの下にナンバーカードを付けたまま、競技を行うことを禁止する。
- 今大会ではスイムキャップを配布する。
各選手が**必ず**支給された**公式スイムキャップ**を使用すること。



アンクルバンドについて

- 入水チェック時に**アンクルバンドを必ず受け取り、**
足首に装着する。
- いかなる理由があっても**アンクルバンドが外れた状態で**
フィニッシュした選手は、失格とする。
- ウェットスーツを脱ぐ際など、アンクルバンドが
外れないよう十分注意する。
- ウェットスーツの上からアンクルバンドは**つけないこと。**



入水チェックについて

- ・入水チェックに遅れた・行わなかった選手は失格とする。
- ・一度、入水チェックを行った選手はスイム終了までスイム会場から出ることはできない。

※入水チェックは指定された時間のみ可能

女子 9:30~9:50

男子 12:30~12:50



トランジションエリアについて

※トランジションエリアは指定された時間のみ開放

1回目 8:00~9:00 バイク搬入可

2回目 12:15~12:30 バイク搬入不可

競技終了後 15:00~

※出入り口では

レースナンバー(バイク・ヘルメット・ナンバーカード)

の確認を大会スタッフが行う。



トランジションエリアについて

- トランジションエリア オープン時間内にレースの事前準備を全て終わらせなければならない。
- **トランジションエリア オープン時間を過ぎてトランジションエリアに入る際は、タイムペナルティ(15秒)。**ペナルティボックスに入って消化する。
- オープン時間を過ぎてエリアに入る際は、T0にレースナンバーを報告し、安全に十分注意してエリアに入る。
- **オープン時間帯が変更になる場合は、会場アナウンスを通して周知を行う。**各選手が場内アナウンスからの情報を注意深く聞くこと。
- 競技終了後のトランジションエリアオープンでは、アナウンス後、速やかなバイクのピックアップにご協力をお願いします。



バイク競技時の注意点

バイク搬入時

- バイクを搬入時、**必ずヘルメットのストラップを締めること。**
- バイクをラックにかけるときは、**ラックナンバーが手前に見える向きにかける。向きを逆にした場合、他の選手に対する妨害行為とみなしペナルティの対象とする。**
- **バイク搬入時間以降の搬入は認めない。**
時間に遅れた選手は失格とする。
- **競技に関係ないものをトランジションエリアに持ち込む事は認めない。**



バイク競技時の注意点

バイク競技開始時 ①

- ・ヘルメットのストラップは
ラックからバイクを取り出す前にしっかりと締めること。
※違反者はペナルティの対象（15秒）

バイク競技開始時 ②

- ・ナンバーカードを2枚つけたゼッケンベルトを
必ず装着しなければならない。
- ・ナンバーカードをつけずにバイク競技を開始した選手は**失格とする**。
- ・2枚のうち1枚のナンバーカードが競技中に突発的に外れた場合は、残る1枚のナンバーカードがT0から見えるように位置を調整する。



バイク競技時の注意点

バイク競技終了時

- バイクフィニッシュ後は**バイクをラックに掛けた後に**ヘルメットのストラップを外すこと。
- バイク終了後もバイクをラックにかけるときは、ラックナンバーが**手前に見える向き**にサドルを掛ける。
※違反者はペナルティの対象（15秒）



競技備品の回収

- 競技備品の搬入、回収は原則選手本人が行い、レースナンバーを担当TOに提示しなければならない。
- トランジションエリアの競技用具は、許可があるまで取り出せない。但し、特別な理由がある場合のみ、回収を認める。
- 救護等の理由で選手本人が回収できない場合は代理での回収を認める。その際、当該選手のレースナンバーを提示する。



乗降車ラインについて 乗車時



足がラインを一步越えてから！

降車時



足が一步ついてから！



バイク競技

※**最後尾の競技者は、先頭と基準距離以下に接近した場合、その時点で失格となる。**

また第1トランジションの時点で、先頭選手の2周回目開始以前に周回開始地点に到達できないと判断された場合は**バイク競技を開始できない**

※今大会はドラフティング**許可**大会である

※DHバーの使用は**禁止**。

※ディスクホイールの使用は**禁止**。

・ヘルメットは、顎にしっかりとフィットしているものとする。

・ヘルメットストラップもしっかりとフィットさせること。

・後部が尖った形状のタイムトライアル(TT)用ヘルメットの着用を**禁止**する。

・ハンドルのエンドキャップが外れている場合はテープ等でふさぐ。

Competition Rules 2023



先頭バイクが折り返し地点Bを通過したらスタートゲート未通過のバイクはDNF
※先頭が40km走行でスタート地点から約9分後

競技中・キープレフト

- **キープレフトを厳守する**

(キープレフトとは路肩、コース左端から1m以内を基準として走行すること)

- 追い越す際は後方を確認して**右側から**追い越すこと。

- 追い越す際には追い越す選手に声をかけ、安全に配慮すること。

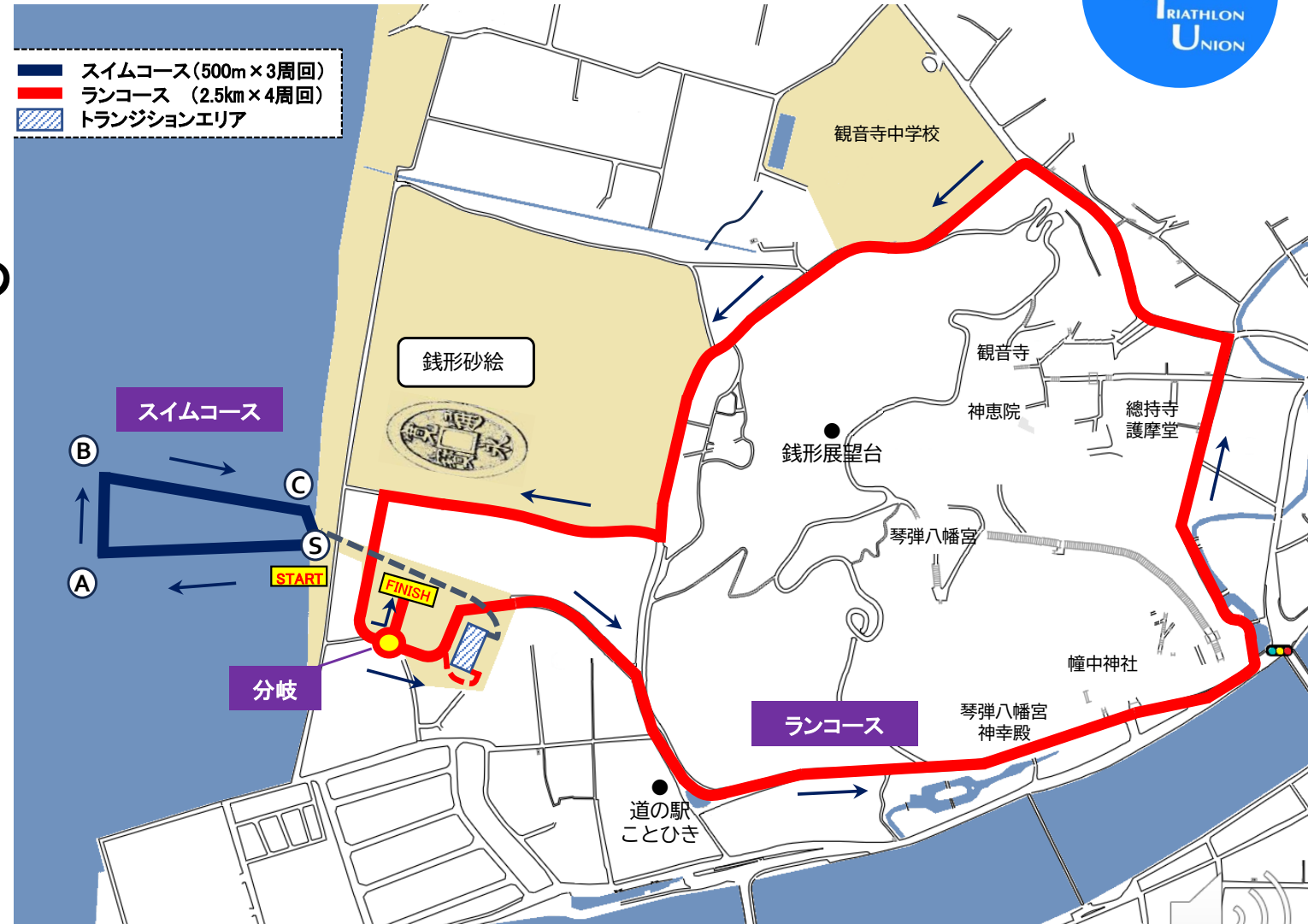
- **二重追い越しを禁止**とする。

- 周回数のカウントは選手の自己管理とする。各自サイクルコンピューターなどを使用することを推奨する

ラン競技

競技中の注意

- 1周2.5kmのコースを反時計回りに4周回
 - レース中は**キープレフト**を厳守すること。
 - 応援関係者及び他の選手による、競技者の**伴走**は認めない。
 - **意図的な同着**は認めない。
 - 一度フィニッシュした選手が**再度コース内に入る**ことはできない。
 - **周回数のカウント**は選手の**自己管理**とする。
- ランウォッチを着用し、
選手各自が距離を計測しながら競技を行う
ことを推奨する。





ペナルティについて

ペナルティの根拠

- JTU競技規則及びローカルルールに違反する行為に対してはペナルティを与える。
- 競技中に適用を受けなかった場合でも、レース後に違反行為が認められた場合はペナルティを与えることがある。
- ペナルティは審判長によって
タイムペナルティ(TP)ルールが適用される。



ペナルティについて



タイムペナルティ

- 大会エントリー費用の入金遅れ: **+300秒**

上記の違反は最終的なタイムに加算される。

レース中、ペナルティボックスに入る必要はない。

- 競技中に発生した他の反則: **+15秒**
- シード申請遅れ **+30秒**

レース中、必ずペナルティボックスに入って消化する。 消化しなかった選手

は**失格**

- 例
- バイクをラックにかける方向が逆の選手
 - 乗降車ラインで違反した選手
 - フライングが認められた場合

Competition Rules 2023



ペナルティについて



ペナルティボックス

- ペナルティを受けた選手(※**15秒ペナルティ**)
レース中に**ペナルティボックスに入り、**
与えられたTP を消化しなければならない。
- 消化せずにフィニッシュした場合は**失格**とする。
また、TOによる**誘導等**は行わない。
- レースナンバーをボックスに提示することにより
対象者への通知とする。
- 各自**必ずホワイトボードを確認すること**
- ホワイトボードへの反映に時間がかかるため、
毎週回確認すること

Competition Rules2023



ストックホイールについて

- ディスクブレーキ及びディスクバイク用ホイールの使用を許可する。
 - 出場選手**1～19名**の場合、
団体ごとに前後輪1組のストックホイールとし、
20名以降は10名増えるごとに
リムホイール・ディスクバイク用ホイールを1組ずつ追加できる。
- 例)リムホイール、ディスクバイク用ホイールをそれぞれ使用するとき
- 出場選手が1～19名の団体の場合
リムホイール1組、ディスクバイク用ホイール1組→計2組



前日の試走について

スイム試泳について

9月1日(金)10:00~17:00

9月2日(土)9:00~10:00

開催場所:すぽっシュTOYOHAMA

※有明浜海水浴場での試泳は禁止です。

バイク試走について

・各自交通ルールを厳守して、コースの確認を行なってください

下記に記すことを厳守すること

・左側通行

・一時停止及び信号を厳守すること

・ヘルメット及びライトの装着

・並走禁止

・歩道を走る際は徐行すること



その他注意事項



悪天候時の競技内容変更について

- 降雨及び強風の影響でコースのコンディションが悪化し、安全に競技を行うことができないと判断された場合、**競技内容が変更になる場合がある。**
- 原則として、変更は当日の朝に決定及びアナウンスを行う。
- 大会本部からのアナウンスや学連公式Twitterをよく確認する。



その他注意事項

レースナンバーの記入

ナンバーは

両腕・両足・両手の甲の計6か所

に記入すること。



その他注意事項

体調管理・リタイヤ

- 脱水症や熱中症予防のため
水分補給を心がけること。
- 熱中症、低体温症両方の対策を各自行うこと。
- リタイヤする場合は
必ずT0 に申し出て、
T0にアンクルバンドを返却すること。
- バイク競技中にリタイヤした場合、
バイクに乗車せず、押して会場まで戻ること。



その他注意事項

写真撮影のルール

- 写真撮影を希望される方は大会受付で**メディア受付**を行い、大会中は許可証を身に付けて撮影をすること。
また、撮影終了後は**許可証を大会受付まで返却**すること。
- トランジションエリアの撮影は一切禁止とする。



その他注意事項

マナーについて

- TOに対する**暴言・暴行は行わないこと。**
- マナーを守った応援を行うこと。
また、立ち入り禁止エリア内の応援は禁止とする。
- フィニッシュ後、**上半身裸になる等の行為は行わないこと。**
(一般の方々の迷惑になるため。)
- 地域住民の理解あつての大会です
各個人が**マナー**を守って競技に挑みましょう



抗議及びテクニカル・オフィシャル (T0)

- T0はJTU競技規則およびローカルルールに沿って大会を運営する義務がある。
- 審判長の判定等に関して不服がある場合は、抗議をすることができる。
ただし、以下に関することは抗議を受け付けない
 - **ブロッキング**
 - **暴言等、スポーツマン精神に反するもの**

抗議がある場合は、審議委員会に対して申し立てを行う。
審議委員会は矢野吉延、栗原豊季、柴田葵によって組織される。



質疑応答について

ローカルルールなどについての質疑応答は個別に行う。
下記に示されたメールアドレスにて受け付ける。

jutu19info@gmail.com



ご清聴ありがとうございました。

**大会関係者一同、
皆様のご健闘を心よりお祈りしております！**

